

日本医史学雑誌第四十四巻総目次

原 著

憑きものの現象論 — その構造分析 (上)

岡田 靖雄 …… 三〇〇

モーゼス・マイモニデスの生涯 (上)

泉 彪之助 …… 二七〇

香川修庵の「儒医一本」の儒について

— 『大学叢』を中心として …… 町 泉寿郎 …… 四九〇

『酬医頓得』に見られる田代三喜の医説 (一)

— 「牛八」、「三掃」の意義

遠藤次郎・中村輝子・梁 永宣・奈倉道治 …… 七三〇

アメリカにおける人痘接種法 — 一七二一年から

アメリカ独立まで — (その一) …… 小田 泰子 …… 三〇三

医科大学国家医学講習科記録 (生徒資料も含む)

石崎 達 …… 三七〇

モーゼス・マイモニデスの生涯 (下)

泉 彪之助 …… 三〇〇

憑きものの現象論 — その構造分析 (下)

岡田 靖雄 …… 三六〇

卷子写本から宋元本へ — 中世日本における中国医書

受容の様相 — …… 小曽戸 洋 …… 四八〇

「導道・三喜別人説」の検討

遠藤次郎・中村 輝子 …… 四九〇

地藏寺過去帳による華岡青洲の乳癌手術患者三名

の死亡年月日 …… 松本 明知 …… 四九〇

アメリカにおける人痘接種法 — 一七二一年から

アメリカ独立まで — (その二) …… 小田 泰子 …… 五〇〇

研究ノート

『解体新書』以前の「神経」概念の受容について

松村 紀明 …… 五〇〇

広 場

アルコールの語源クフル粉とバラ水

— モロッコ・アラブ医学管見 — …… 泉 彪之助 …… 五〇〇

資 料

手塚良斎『医学所御用留』(一) …… 深瀬 泰旦 …… 九〇〇

天保十三年、京都滞在中の小島宝素の書簡

町 泉寿郎 …… 九〇〇

池田文書の研究 (十六) …… 池田文書研究会 …… 三〇〇

適塾の塾頭をした筑後久留米藩医松下元芳

中山 茂春 …… 四〇〇

池田文書の研究 (十七) …… 池田文書研究会 …… 四〇〇

手塚良斎『医学所御用留』(二) …… 深瀬 泰旦 …… 四〇〇

南化本『史記』扁鵲伝の訓点 …… 宮川浩也 …… 五〇〇

『よしの冊子』医家関連記事 (一) …… 町 泉寿郎 …… 五〇〇

手塚良斎『医学所御用留』(三) …… 深瀬 泰旦 …… 五〇〇

池田文書の研究(十八)……………池田文書研究会：五三〇～五九

追悼

久志本常孝先生を悼む……………深瀬 泰且：三七〇～三

中川米造先生 七十一歳の死……………長門谷洋治：四〇〇～四一

山中太木先生を偲ぶ……………杉立 義一：四一〇～四三

名誉会員加藤豊明先生の遠逝にあたり……………岩治 勇一：四四〇～四四

記事

消息

「近世の医学と福岡の医家」展報告……………佐藤 裕：四四

「種痘医 北城諒齋顕彰碑」除幕式……………日野原 正：四七

日本医史学会福岡地方会発足報告……………佐藤 裕：四七

国際シンポジウム「21世紀を迎える精神医学史」……………濱中 淑彦：四六

―東西二千年の精神医学―……………濱中 淑彦：四六

第37回医史学研究会・日本医史学会関西支部……………長門谷洋治：四九

合同総会……………長門谷洋治：四九

日本医史学会関西支部一九九八年春季大会……………長門谷洋治：四〇

第三六回国際医学史会議……………泉 彪之助：五七

「宗田文庫披露式」報告……………真柳 誠：五三

例会抄録……………真柳 誠：五三

順天堂大学医史学研究室所蔵、吉益東洞自筆「古書医言」……………館野 正美：四九

について……………館野 正美：四九

土佐藩足軽・岡本兵衛の戦病死について……………中西 淳朗：五

ビタミンの発見に対する漢方医学の貢献……………山下 政三：五

齋藤玉男―断種法史上の人びと(その一)……………岡田 靖雄：五

横浜軍陣病院における土佐・因州兩藩……………中西 淳朗：四

の死者をめぐる……………中西 淳朗：四

大隈重信の切断手術から健康生活への……………坪井 良子：四三

セルフケアに関する研究……………奥沢 康正：四四

眼科医療器械史のCD-ROM化……………奥沢 康正：四四

船舶移送をうけた奥羽出張病院患者の転帰……………中西 淳朗：四六

江戸の考証医家……………小曾戸 洋：四七

紹介……………小曾戸 洋：四七

石島弘著「水戸藩医学史」……………真柳 誠：一五

織田五二七著「杏仁浪漫日本医学外史古医方より蘭方まで」……………津田 進三：一五

日本眼科学会百周年記念誌編集委員会編「日本眼科学会……………津田 進三：一五

百周年記念誌」……………奥沢 康正：一五

アン・ハドソン・ジョーンズ編著……………奥沢 康正：一五

『看護婦はどうみられてきたか』……………坂本 女子：一六

小曾戸洋著「中国医学古典と日本―書誌と伝承―」……………篠原 孝市：一六

……………篠原 孝市：一六

タイムン・スクリーチ著、高山宏訳「江戸の身体を開く」……………真柳 誠：一三

……………真柳 誠：一三

藤野豊編「歴史のなかの「癩者」」……………中西 淳朗：一五

三杉和章・杉田暉道共編「横浜と医学の歴史」……………三輪 卓爾：四九

森納著「歯の民俗―民間信仰・俗信・くすり……………三輪 卓爾：四九

―歯の神様・仏様 あごなし地蔵〕……………神原悠紀田郎：四九

鈴木七美著「出産の歴史人類学 産婆世界の解体から……………神原悠紀田郎：四九

自然出産運動へ」……………石原 力：四一

杉田暉道著「やさしい仏教医学 我が国最初の……………石原 力：四一

ターミナルケア学」……………中山 沃…四〇

荒井保男著『続・医の名言』……………大滝 紀雄…五七

青木歳幸著『在村蘭学の研究』……………正橋 剛二…五七

岩下哲典著『権力者と江戸のくすり』……………遠藤 正治…五七

琉球大学医学部附属地域医療センター編『沖繩の歴史と医療史』……………壹岐 裕志…五〇

児玉善仁著『病氣の誕生―近代医療の起源―』……………泉 彪之助…五八

北条元一著『米沢藩医私撰』……………深瀬 泰旦…五二

医史学文献目録 平成八(一九九六)年……………順天堂大学医史学研究室編…五七

日本医史学雑誌第四十四巻総目次……………三三

第九十九回 日本医史学会 学術大会演題目次

会長講演

牛痘種痘法の鼻祖中川五郎治に関して誤って伝えられて

いること……………松本 明知…二七

特別講演 I

Edward Jenner's Activity in Science

……………Malcolm F. Beeson…二〇

特別講演 II

North American Vaccination above the 49th Parallel

……………John W. R. McIlyre…一八

シンポジウム I

「日本における医史料の蒐集と保存について

―その現状と提言―……………司会寺畑 喜朔…一六六

シンポジウム II

「若い人たちに医学史を伝えるために」

……………司会大村 敏郎…一六七

一般口演

1 明治初期の啓蒙医家森鼻宗次……………中山 沃…一八

2 済生学舎出身の生化学者、旧制金沢医科大学学長

「須藤憲三」について……………唐沢 信安…一六〇

3 医師・加藤時次郎と横浜……………中西 淳朗…一六三

4 太田正雄(木下奎太郎)の医学ノートについて

……………黒川 一郎・島田 保久・吉田 信…一五四

5 最近発見したヒポクラテス画像と賛文について

……………蒲原 宏…一六六

6 坪井信道賛―川原慶賀のヒポクラテス画像―

……………和田和代史…一六八

7 小島宝素の『医心方』巻22の伝鈔について

……………町 泉寿郎…二〇〇

8 幕末期の院内銀山の死亡者記録の分析

「門屋養安日記」にみる庶民の医療(2)

……………蒔 昭三…二〇二

- 9 「看護」という言葉の使用のはじめ(第3報)―鎌倉時代末期の仏教史書『元亨釈書』と看護……………平尾真智子…三〇四
- 10 大村藩・古田山と長与俊達、大浦嘯山……………長与 健夫…三〇六
- 11 足立長雋の祖為春先生と乗附為春海鏡……………石原 力…三〇八
- 12 江戸期本草家の北陸への関心(2)……………畔田翠山の白山・立山紀行……………正橋 剛二…三〇〇
- 13 中国伝統医学と道教(第19回)「符」……………中国伝統医学と道教……………吉元 昭治…三二三
- 14 中日両国に於ける古代の疫病流行について(紙上発表)……………邵 沛…三二四
- 15 医療技術の視点から見た『三国志』と『三国志演義』の比較……………和田 裕一…三二六
- 16 『素問攷注』の用字例……………宮川 浩也…三二八
- 17 李東垣の瀉血療法……………友部 和弘…三三〇
- 18 元代の三皇廟について……………秦 玲子…三三三
- 19 『紹興本草』の新知見……………真柳 誠…三三四
- 20 『玉機微義』における薬物の使われ方……………原田 俊介・小曾戸 洋・真柳 誠…三三六
- 21 宋版傷寒論不可篇の成立について 牧角 和宏…三三八
- 22 『全九集』の編纂者とその意図……………遠藤 次郎・中村 輝子…三三〇
- 23 清医趙淞陽について―1726〜1729年の……………
- 24 長崎での逸事……………郭 秀梅・岡田 研吉…三三三
- 24 田中弥性園所蔵の善本古医籍(明版)……………小曾戸 洋・田中 祐尾…三三四
- 25 同仁会の機関誌『同仁』について……………丁 蕾…三三六
- 26 ドイツの臨床神経学―Rombertg からErbまで……………高橋 昭・伊藤 泰広…三三八
- 27 ベレッティーニ解剖図譜における自律神経系(第2報)……………レジス・オルリー・本宮かをる…三四〇
- 28 オランダ・ライデンの外科医ギルドの歴史……………石田 純郎…三四三
- 29 リヨンにおける医学小史(2)―オテル・ディウとシャリテー……………小林 晶…三四四
- 30 フランスにおける人痘法受け入れ論争……………小田 泰子…三四六
- 31 ヴェサリウス解剖学の構成とその起源について……………坂井 建雄…三四八
- 32 ハックスリーの英文・比較骨学図譜(1864年)について……………松尾 信一…三五〇
- 33 十九世紀アメリカ医学における瀉血……………藤倉 一郎…三五三
- 34 アヴィセンナ(イブン・シーナ)の「医学範典」における精神医学(第1回)……………濱中 淑彦…三五五
- 35 ハスダイ・イブン・シャブルトとカイロ・ゲニザ……………泉 彪之助…三五八

- 36 日本の精神病学における遺伝学的研究の歴史  
 (その2) ..... 岡田 靖雄…二五八
- 37 鷗外の「甘瞑の説」 ..... 高橋 正夫…二六〇
- 38 解剖用語「瘵」の受容、定着の過程について  
 ..... 佐藤 裕…二六三
- 39 歯牙硬組織生活力に関する概念の変遷について  
 ..... 西巻 明彦…二六四
- 40 梅毒血清診断ワツセルマン反応と日本への紹介  
 について ..... 会田 恵…二六六
- 41 浅田宗伯と清国駐日公使館の人たち  
 ..... 陳 捷…二六六
- 42 明治12年から16年までの東京府における  
 医術開業旧試験について ..... 樋口 輝雄…二七〇
- 43 死体と臓器移植 ..... 杉田 暉道…二七三
- 44 『芸備医事』の復刻事業について  
 ..... 江川 義雄・中川 和夫…二七四
- 45 地藏寺過去帳による華岡青洲の系譜の新知見  
 ..... 松木 明知…二七六
- 46 日本における脊椎麻酔の歴史―昭和20年以前の研究  
 について ..... 小谷 直樹・松木 明知…二七八
- 47 性病予防行政史―戦後の激動期を中心に―  
 ..... 長門谷洋治・坂上 俊之…二八〇
- 48 クロフォード F・サムス大佐の人と業績  
 ..... 吉見 契子・鈴木 明子…二八三
- 49 松本順と北海道―特にその来道と足取りを追って―  
 ..... 宮下 舜一…二八四
- 50 赤城信一について (第3報)  
 ..... 上田智夫・小竹英夫・宮下舜一・吉田信…二八六
- 51 徳川慶喜の奥医師の生誕地とその周辺  
 ..... 木村専太郎…二八八
- 52 1910年以前の在韓宣教医 ..... 高安 伸子…二九〇
- 53 明治12年沖繩県のコレラ流行―土屋寛信の  
 『琉球紀行』から― ..... 深瀬 泰旦・真柳 誠…二九三